

《沖縄協同病院の理念》

- 患者様に信頼され、質の高い安全・安心な医療をめざします。
- 人権を尊重し、納得のいく説明と同意、情報開示を提供します。
- 地域と連携し、総合的な医療・福祉・介護の提供に努めます。

はいさい

加入・増資にご協力ください

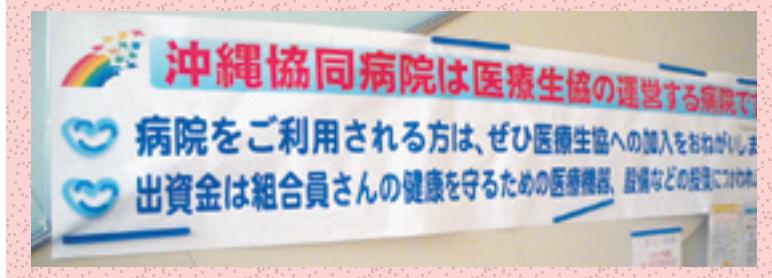
院内アナウンスでときどき流れています医療生協とは、「地域の人びとが組織をつくり、医療機関を持ち、運営し、生協法にもとづく住民の自主的組織」です。

私たち沖縄協同病院もその一つで、3月1日より一ヶ月間「組合員ふやし・増出資増やし年度目標達成」の取組みが始まりました。この機会に組合員になっていただき、ご自分やご家族の健康づくりや、地域の班会参加で住みよい街づくりなどの活動に参加しませんか。

すでに組合員の方は、増出資金へのご協力をお願いいたします。医療生協は多くの患者様が安心して療養できるよう、入院での「差額ベッド料」や外来における「初診時の特定療養費」を算定せず患者様の自己負担を増やさないように努力しています。

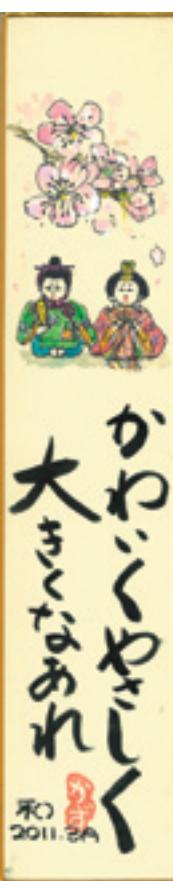
組合員増やし・出資金ふやしに、ご協力をお願いします。

事務次長 具志堅 徳和



病院の
活動状況
<1月度>

- ・外来一日平均患者数: 922人
- ・入院一日平均患者数: 274人
- ・組合員利用率: 49.6%
(前月比-5%)



沖縄協同病院・病院広報委員会

那覇市古波蔵4丁目10番55号

TEL.(098)853-1200

FAX.(098)853-1212

<http://oki-kyo.jp>

発行責任者 仲程正哲

機能評価受審

日常的なレベルアップを引き続き目指します



機能評価受審に向け最終確認を行っています

機能評価受審が近づいています。(3/3 ~ 5)

各部署・部門では整理・整顿を中心とした環境整備のレベルアップが進んだと感じています。

現在行っている医療の中身は、他の医療機関に後れをとっていないと自負していますが、それを裏付ける根拠(書類)の整備が課題です。

手順書類の補強・改訂、中身の点検、院内で統一した書式に合わせたファイルの綴り方等、普段は聴診器や注射器を持つ手を、文房具に持ち替え夜遅くまでの作業を続けています。

昨年より取り組んでいる機能評価受審のための準備は私たちの医療活動を見直す良い機会となりました。建物が新しくなり、医療の中身についても一段レベルが上がったと感じています。機能評価受審を新たな出発点とし、今後も質の高い安全・安心な医療、無差別平等の医療を行っていきます。

事務次長 宮平 守



注射は1施工1トレイでしっかり確認

睡眠時無呼吸について③

おはなし会
59

耳鼻咽喉科



睡眠時無呼吸症候群って
どんな病気?

睡眠時無呼吸症候群は「大きないびき」、「睡眠中の無呼吸」、「日中の過度の眠気」などの症状がでる病気で、無治療でいると心臓疾患、脳卒中の発症リスクが健常者の二~三倍になるとと言われています。また、交通事故の発生頻度も健常者の七倍になります。また、産業事故の発生頻度も上昇するといわれています。日本では二〇〇三年二月に起きた、新幹線運転士の居眠りによる緊急停止事故が有名です。この運転士は睡眠時無呼吸症候群と診断されました。そのため、新幹線の運転中に堪え難い眠りに襲われ、八分間も居眠りし、ブレーキ操作が行なわれず、ATCが作動して新幹線が緊急停止したという事件です。この事件をきっかけに、テレビや新聞に睡眠時無呼吸症候群がとりあげられることが多くなり、世間に一般に知られるようになったといわれています。

生命予後に関しても、アメリカのHeらの報告では、睡眠時無呼吸があると八年後の生存率が、対象者平均九六%±一%なのに対し、中等症以上の睡眠時無呼吸があると平均六三%±七%と優位に悪いとの結果がでています。つまり、睡眠時無呼吸の人は

次回は睡眠時無呼吸症候群の検査、治療などについてお話ししたいと思います。どうでしようか? 次回は睡眠時無呼吸症候群の検査、治療などについてお話ししたいと思います。

耳鼻咽喉科
仲西 雅人

虹のバレンタイン行動

「貧困をなくし、社会保障制度を充実させよう。」「基地のない平和な沖縄を築こう。」をスローガンに各地でバレンタイン行動が取り組まれました。

豊見城地域では、毎月の無料健康チェックと一緒に取り組みました。

毎月第3(水)午後2:30~4:30
JAとみえーるで健康チェックを行っています。

顔なじみの方も多く、血圧、肥満、コレステロール、血糖などについての質問やら、なかなか体重が減らないなど悩みを話される方などに頼られています。

とよみ支部長 津波古 理恵子



無料健康チェック



虹の箱より

ご意見・ご要望

家族が入院でお世話になっています。

看護師さんが処置などをていねいにして下さり、感謝しています。

12月25日(土) 内科 8階

ご返事

ありがとうございます。入院生活を余儀なく送られている患者様、御家族のかたよりの「ありがとう」という言葉は私たち看護師に元気とうれしい気持ちを抱かせてくれます。

これからも安全・安心な入院生活のサポートを心がけていきたいと思います。

8階師長 山城 令子

沖縄民医連職員共済会＆医療生協労組共催

第3回 文化祭典



日 時：2011年3月19日(土)

展示の部 午前11時～午後5時

舞台の部 午後5時30分～午後8時

場 所：豊見城中央公民館 中ホール・大ホール

参加費：無料

問い合わせ先：共済会 ☎856-7761

後 援：沖縄県民主医療機関連合会／沖縄医療生活協同組合

第30回 沖縄民医連学術・運動交流集会

去る2月23日(土)、豊見城中央公民館において、第30回沖縄民医連 学術・運動交流集会が開催され、職員・組合員(理事)など200名が参加しました。学術・運動交流集会とは、日常の医療や介護の活動、平和を守る取り組みなど日頃の実践を全職員で共有する場です。

今集会のテーマは「ひとりにひとつ大切なのち～私たちが救えるいのちがある～」とし、全体で36演題の発表がありました。昨年11月から実施されている医療生協の無料・低額診療事業にも県内で大きな反響があり、その実践報告もありました。今後も常にアンテナの感度を良くし、「いのちの平等」を掲げて取り組んでいきたいと思います。

事務局長 山田 義勝



クブシミ



イルカンド

クブシミは夏は深場で生活し、冬は浅瀬のサゴに産卵に来る。一〇年前は冬に素潜りをする。必ず数匹のクブシミを見つけたものである。クブシミは、砂地にいるときは白、岩場にいるときは茶色とタコと同じように体色を変化させる。タコとしているので見つけにくいが、クブシミは常にヒダをひらひらさせているので本人は隠れているつもりでもすぐみつかってしまう愛嬌者だ。

甲イカの仲間のコブシメも方言名のクブシミが和名になった。最近は砂浜も少なくなつたが、一〇年ほど前までは砂浜を散策すると、打ち上げられたクブシミの甲をよく見かけた。甲は石灰質で人の一部では喘息の薬や止血剤として知られていたようだ。

クブシミは夏は深場で生活し、冬は浅瀬のサゴに産卵に来る。一〇年前は冬に素潜りをする。必ず数匹のクブシミを見つけたものである。クブシミは、砂地にいるときは白、岩場にいるときは茶色とタコと同じように体色を変化させる。タコとしているので見つけにくいが、クブシミは常にヒダをひらひらさせているので本人は隠れているつもりでもすぐみつかってしまう愛嬌者だ。

おきなわの
自然®

クブシミ

とよみ生協病院

事務課長 金城稻子